



# 2020年3月期 第3四半期 決算説明資料

2020年2月14日

株式会社ぱど

(東京証券取引所JASDAQ 証券コード4833)

## (1) 決算概要

- ✓ 営業利益は▲315百万円で着地  
(前年同期比は▲38百万円の軟調に推移)

## (2) 通期業績予想の修正

## (3) 今期事業方針

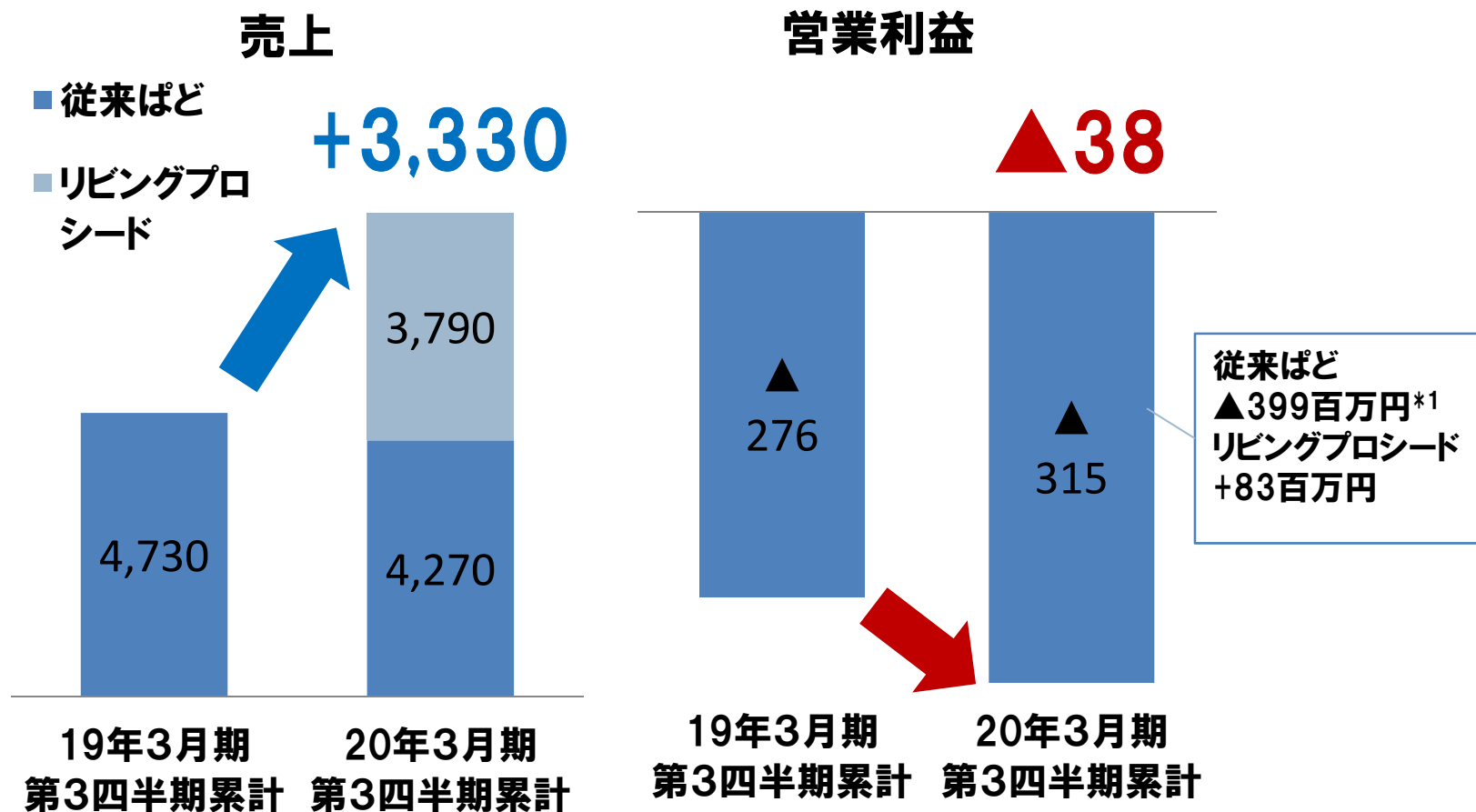
- ① 既存事業の価値向上と合理化
- ② 既存事業のデジタル化・会員化の促進
- ③ 狭域サポート事業の開始

# 売上・営業利益推移



主にリビングプロシードの連結により前年同期比の  
売上は+3,330百万円、営業利益は▲38百万円

(単位:百万円)



\*1:リビングプロシードを含まない従来ぱどグループでの連結

# 連結損益計算書(要約)



第3四半期累計売上高8,061百万円(前年同期比+3,330百万円)  
営業利益▲315百万円(前年同期比▲38百万円)

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
売上高	4,730	8,061	3,330	70.4%
売上総利益	1,871	2,096	225	12.1%
販管費	2,147	2,412	264	12.3%
営業利益(損失)	▲ 276	▲ 315	▲ 38	-
経常利益(損失)	▲ 252	▲ 310	▲ 57	-
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	▲ 551	▲ 321	229	-

# (参考) 従来パド連結のPL推移

紙原価の高騰等による売上総利益減少を抜本的な社内コスト構造改革により、利益率を重視した筋肉質な体制へ再転換中

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
売上高	4,730	4,270	▲ 460	-9.7%
売上原価	2,859	2,892	32	1.1%
売上総利益	1,871	1,377	▲ 493	-26.4%
販管費	2,147	1,777	△ 370	-
営業利益	▲ 276	▲ 399	▲ 122	-

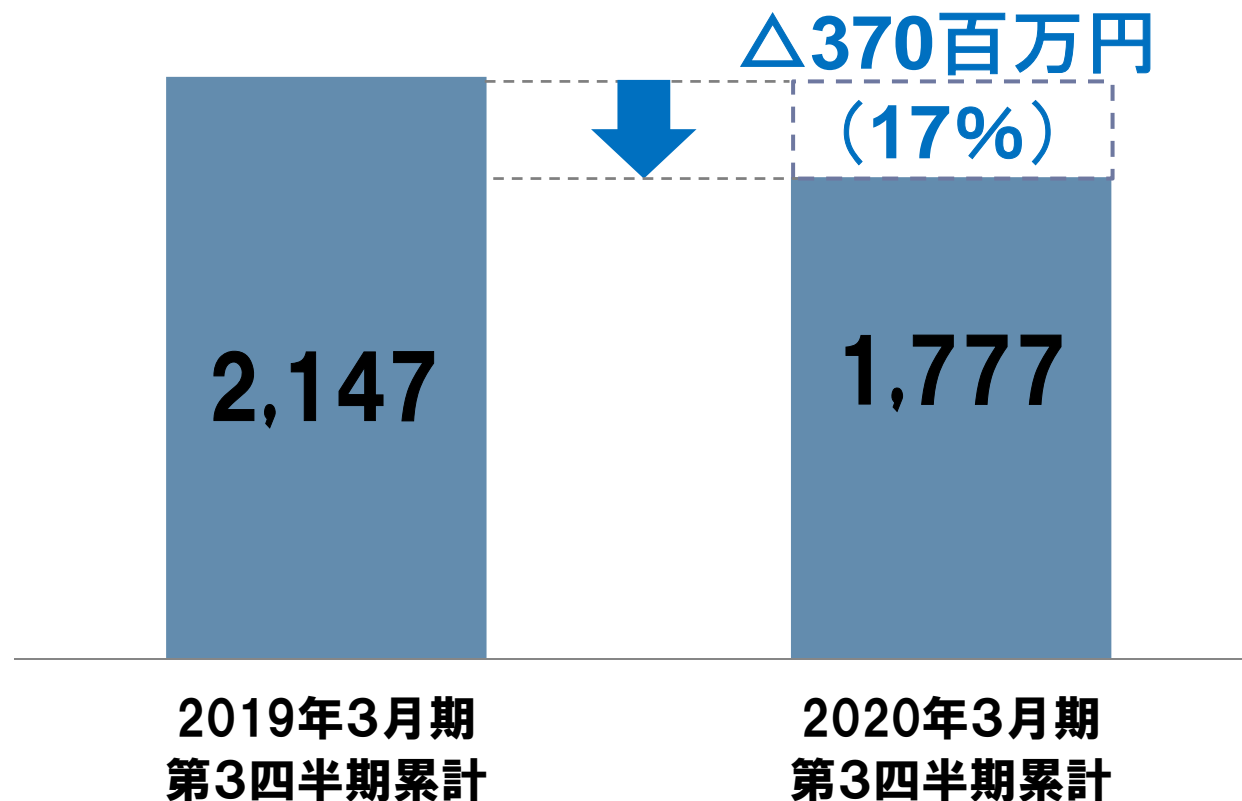
# 要因① 従来ぱど連結：販管費削減



前期に行った大幅な販管費削減の効果により、フリーペーパー事業の売上総利益減少をカバー

(単位:百万円)

従来ぱど販管費推移



## 要因② ぱど単体：家庭版本誌の状況

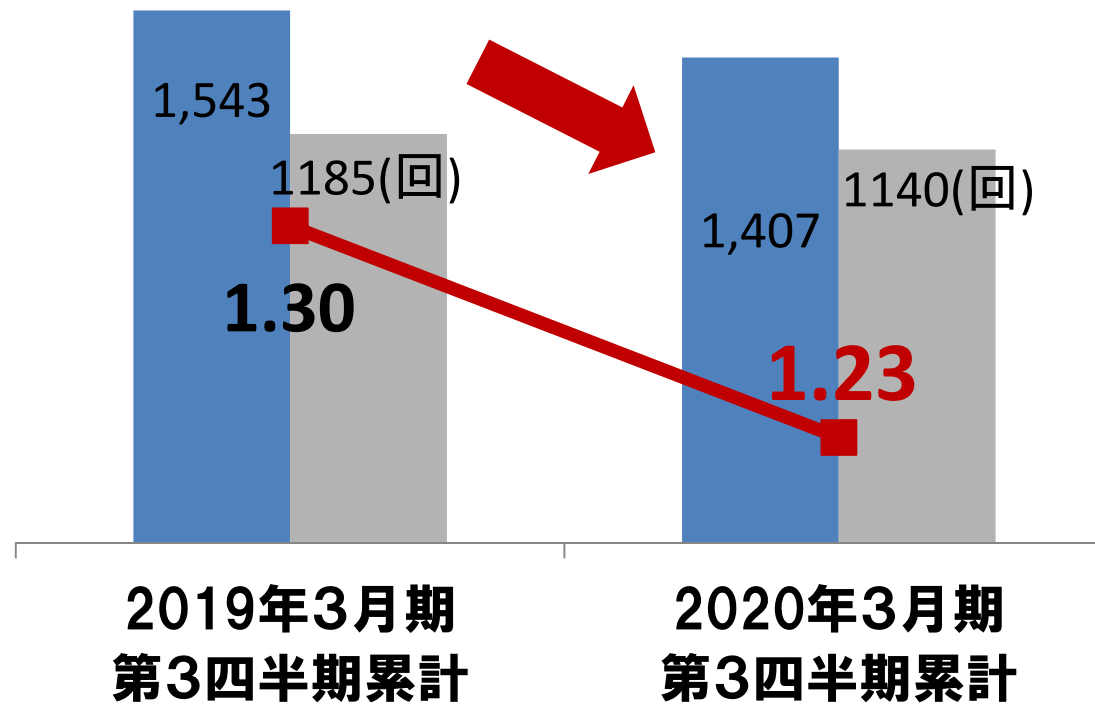


前期の不採算エリアの再編・撤退と合わせて、媒体あたりの利益効率性を重視した意識改革を醸成中

(単位：百万円)

家庭版本誌売上・発行数推移

■ 本誌売上 ■ 発行回数 ■ 本誌売上/回



- ✓ 第4四半期は全地域での美容医療関連の別冊を家庭版内に収め、発行あたり売上の改善と原価効率の改善を並行して実施



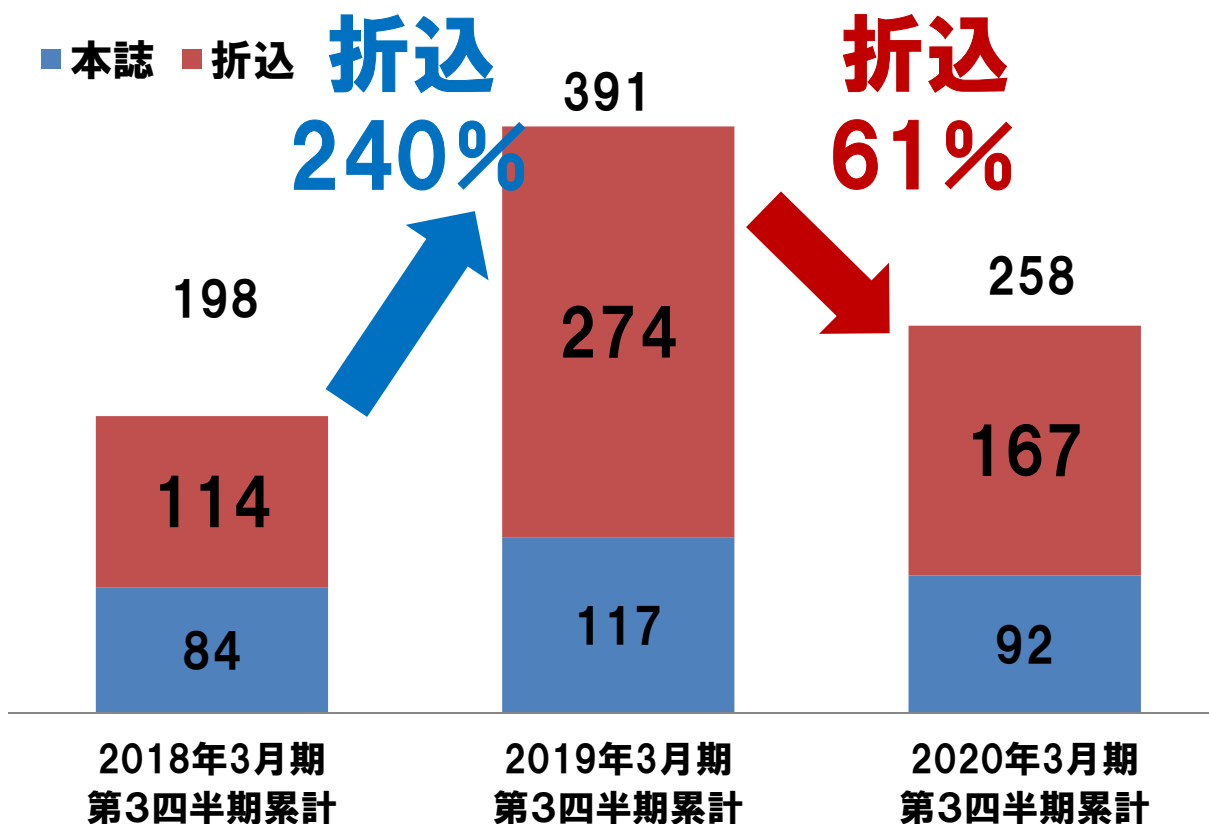
# 要因③ ぱど単体:アフルエント折込の状況



富裕層向けターゲットメディア「アフルエント」折込の売上高改善のための新商品導入等を実施し、販路を拡大中

(単位:百万円)

アフルエント売上高推移



- ✓ 第4四半期は折込営業部と、富裕層インフラを利用したDM商品での販路を拡大し、売上改善を予定





# 連結貸借対照表(要約)



(単位:百万円)

資産の部	2019年 3月期	2020年 3月期 第3四半期	増減額
流動資産	3,911	2,891	▲ 1,019
(現金預金)	1,979	1,464	▲ 514
固定資産	437	406	▲ 30
<b>資産 合計</b>	<b>4,348</b>	<b>3,298</b>	<b>▲ 1,050</b>

負債・ 純資産の部	2019年 3月期	2020年 3月期 第3四半期	増減額
流動負債	2,363	1,716	▲ 646
固定負債	234	154	▲ 79
負債合計	2,597	1,871	▲ 726
株主資本	1,690	1,368	▲ 321
純資産合計	1,751	1,427	▲ 324
<b>負債純資産 合計</b>	<b>4,348</b>	<b>3,298</b>	<b>▲ 1,050</b>

## (1) 決算概要

- ✓ 営業利益は▲315百万円で着地  
(前年同期比は▲38百万円の軟調に推移)

## (2) 通期業績予想の修正

## (3) 今期事業方針

- ① 既存事業の価値向上と合理化
- ② 既存事業のデジタル化・会員化の促進
- ③ 狭域サポート事業の開始

# 通期業績予想(連結)



リビングプロシードの売上高改善が見込まれるものの、  
既存事業の収益悪化により業績予想を下方修正

## ■ 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

※2020年1月29日付で開示

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)
売上高	11,100	11,000	▲100	▲0.9	7,997
営業利益	▲30	▲290	▲260	—	▲197
経常利益	▲20	▲290	▲270	—	▲172
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲5	▲296	▲291	—	▲523
1株当たり 当期純利益	0円25銭	▲14円80銭	—	—	▲26円98銭

# 通期業績予想(単体)



フリーペーパー事業の収益性が悪化。リビングプロシードからの配当金300百万円および経営指導料150百万円を営業外収益で計上

## ■ 2020年3月期個別業績予想数値の修正

(単位:百万円)

※2020年1月29日付で開示

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)
売上高	5,100	4,800	▲300	▲5.8	5,499
営業利益	▲190	▲460	▲270	—	▲305
経常利益	110	▲10	▲120	—	▲282
当期純利益	100	▲10	▲110	—	▲625
1株当たり 当期純利益	5円00銭	▲0円50銭	—	—	▲32円19銭

## (1) 決算概要

- ✓ 営業利益は▲315百万円で着地  
(前年同期比は▲38百万円の軟調に推移)

## (2) 通期業績予想の修正

## (3) 今期事業方針

- ① 既存事業の価値向上と合理化
- ② 既存事業のデジタル化・会員化の促進
- ③ 狭域サポート事業の開始

# (再掲) 今期事業方針

各事業方針について、第3四半期における取組状況の一部を、次ページより報告(赤字部分)

## ① 既存事業の価値向上と合理化

- SMBコンサル営業(中小企業への営業代行)の拡大
- リビングプロシードの経営効率化

## ② 既存事業のデジタル化・会員化の促進

- **サイト会員を活用した地方創生事業の提案領域拡大**
- 富裕層向け事業の拡大
- チラシ制作・印刷・配布の一気通貫商品の展開

## ③ 狭域サポート事業の開始

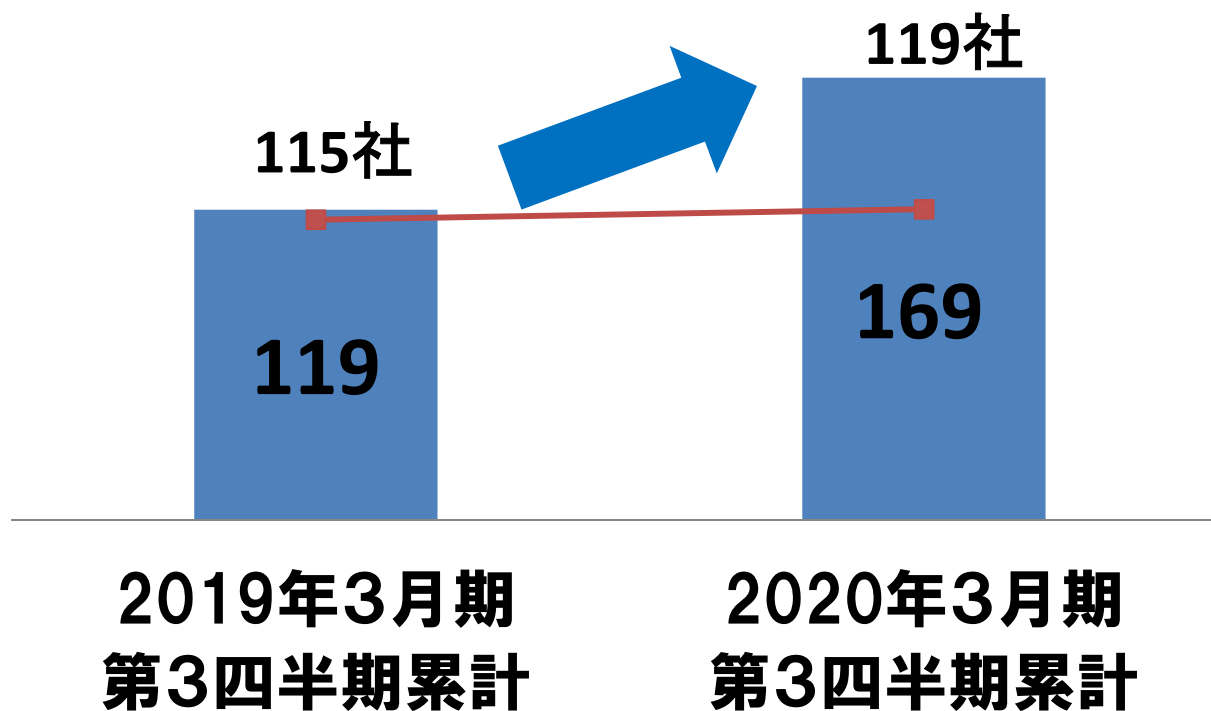
- **狭域副職プラットフォーム(超短時間業務マッチング)事業**
- **狭域ロジスティクス(物流補助業務)事業**

## ② 既存事業のデジタル化・会員化の促進

地方創生事業において、前期に発足した地域ビジネス創造局では  
サイト会員化は検討段階だが、売上・取扱社数は堅調に推移

(単位:百万円)

■ 売上    ■ 取扱社数



✓ 地域ビジネス創造局  
売上高  
(前期比)  
+50百万円  
取扱社数  
(前期比)  
+4社

### ③ 狭域サポート事業の開始

従来配布員を活用した不動産業務請負の拡大、および宅配業務請負のフィジビリティスタディを実施中

請負実績あり



物件撮影



マンション清掃

請負実績あり



駐車場清掃

- ✓ 他社協業を視野に入れた狭域サポート業務の管理PFテストを準備中



仕込・開店準備



役所書類取得



陳列・棚卸

- ✓ 物流補助として他社の宅配業務の一部請負を実施

請負実績あり



宅配(置き配)



**この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、この資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。**

**しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。**

**当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。**

**尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。**